

令和7年 第3回 横手市中心市街地活性協議会 議事要旨

日 時	令和7年 10 月1日(水)14:00～15:30
場 所	横手市役所 本庁舎5階 第二委員会室
出席者	渡部 尚男委員、高橋 雅博委員、打川 敦委員、黒丸 雄平委員、松井 豊委員、 佐藤 誠一委員、佐々木 義幸委員(代理出席 伊藤 元志委員)、竹村 敬委員、 佐々木 均委員、佐藤 和志委員、山石 均委員、小坂 広美オブザーバー
欠席者	高橋 淳委員、南川 彰宏委員、畠山 政士委員、齋藤 善一委員、 清水 明彦オブザーバー
事務局	小玉部長、宮本室長、高橋室長代理、吉野副主幹、酒井主査
議 事	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議事 報告第1号 横手市中心市街地活性化基本計画(案)について 議案第1号 横手市中心市街地活性化基本計画(案)に関する意見書(案)について 4. 今後のスケジュール等について 5. その他 6. 閉会
資 料	【資料1】横手市中心市街地活性化基本計画(案) 【資料2】横手市中心市街地活性化基本計画案 新旧対照表 【資料3】横手市中心市街地活性化基本計画(案)に関する意見書(案) 【資料4】横手市中心市街地活性化基本計画策定スケジュール

【議事要旨】

次 第	発言者	発言概要
1.開 会	司会	ただいまから、第3回「横手市中心市街地活性化協議会」を開会いたします。
2.会長あいさつ	渡部会頭	皆様におかれましては、大変お忙しいところ本協議会へのご出席を賜り、誠にありがとうございます。 本日は令和7年度の第3回目の協議会となります。 本日の第3回協議会では、前回の協議会の際に皆様から出されましたご意見を踏まえ、あわせて、国との協議により市で作成した「横手市中心市街地活性化基本計画(案)」について説明を受け、再度、委員の皆様からのご意見をいただきたいと思ひます。 また、「中心市街地の活性化に関する法律」の規定により、基本計画案に対する協議会からの「意見書」を市へ提出し、市では、「意見書」を基本計画に添付して国へ認定申請することになりますので、この「意見書」の案についても、ご審議いただきたいと思ひます。 委員の皆様からの積極的なご意見をお願い申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。 本日は、よろしくお願いいたします。
3.議事 報告第1号	渡部会頭	はじめに、「報告第1号 横手市中心市街地活性化基本計画(案)」について、事務局より説明願ひます。
	事務局	～事務局より説明～ 【資料1、2】
	渡部会頭	報告第1号について、委員の皆様より、ご意見をお願いいたします。 協議会副会長、DMOの打川理事長より願ひします。
	打川委員	基本計画の考え方についてお伺ひします。この会のスタート当初は市民会館の移転・新築の計画があり、それと整合性をとっていましたが、市民会館については事業費の目途がつくまで延期というのが現状だと理解しております。この計画書の中には市民会館建設用地という表現や、建設された場合の駅からの動線の環境整備という項目があります。建設計画の記載は無くてもいいのかお聞きしたいです。
	事務局	今おっしゃられたように市民会館については市としては整備をする方向で進めております。事業としては昨年度に一時中断になりましたが、現在も整備をする方向で検討しています。建設整備事業として記載することについては、予算措置をして事業と

次 第	発言者	発言概要
		して執行するという段階になってから記載をするようにと内閣府から指示されています。市の方針としては市民会館を建設・整備する方向であることを国に理解をいただいたうえで、事業としては確実に予算をとって事業として進めるという段階で、改めて記載するという形になっています。 この基本計画は今回策定して終わりではなく、今後、中心市街地活性化に資するような事業・取組をスタートさせた場合は、計画の変更という形で事業を記載していくことができるので、市民会館の整備事業についても、整備の予算がついた段階で、こちらに記載をして、計画の変更をしたいと考えています。
	渡部会頭	横手商工会議所の高橋委員よりお願いします。
	高橋委員	現在、総合計画、商工業振興計画の改定中だと思います。確認ですが、この計画とリンクする形で行くということで間違いないでしょうか。
	事務局	おっしゃるとおり、各計画との関連性についてこの基本計画に記載しています。総合計画、商工業振興計画が今年度末に一旦終了し、来年度にまた新しい計画になります。関係課と計画・方向性をすり合わせる形で、情報を共有しながら進めていきます。
	渡部会頭	次に、駅前商店街振興組合、黒丸委員よりお願いします。
	黒丸委員	前回指摘したところが修正され、盛り込まれています、ありがとうございます。 打川委員からもありましたが、我々がここに召集された際には市民会館ありき、というところがありました。予算の部分もあるのですが、議会などの意向もあるのかもしれない。市民会館を整備するためには、市民の思いが醸成されていく必要があります。そこを積み上げていく取組はソフト事業だと思います。それがあると市民にも、やっぱり市民会館が必要だという思いが伝わっていくと思います。ぜひそういった取組をしてもらいたい。計画に予算が付いたのでやりますではなく、時間を置いたなりに計画を深くしていく必要があると思います。そういった取組をやっていき建設に結び付けて頂ければと思います。今回の計画で後押しするような、肉付けできるようなものがあれば、そこに盛り付けをして、計画として出して頂ければと思います。
	事務局	おっしゃるとおり建設・ハード面では一時中断になっており、市民の思いなどを建設までどう醸成していくかは重要だと思っています。ソフト事業という部分では、もともと実施している事業として自主文化事業、芸術文化推進事業などがあり、新しい市

次 第	発言者	発言概要
		民会館でのソフト事業を想定して、新しいソフト事業・取組をできれば、という話を担当課としていました。今後そういった事業に取り組むことになった場合は計画等に追加し、整備に向けて進めていきたいと思っています。
	渡部会頭	次に、駅西口駅前振興組合、松井委員よりお願いします。
	松井委員	駅西関係者として、40 頁のトライアル利活用事業についてお聞きします。駅西振興組合では10年ほど前に、全国商店街振興組合連合会でのトライアル利活用事業を行い、西口駅前でアンケートを取ったりイベントをやったりしました。その中では、「駅の広場をどう活用するか」が市民の関心事で、「公園の利活用」に対するニーズがありませんでした。この公園は、土地区画整理事業で、防災のために地下に防水タンクを埋める場所として、30 年前に設定されました。このため、市民ニーズを踏まえると、この公園をどのように利活用するかという事業ではなく、駅西第一街区の駅前広場と公園を一体的に活用するトライアル事業とした方が良いと思います。
	事務局	こちらの「三枚橋1号街区公園トライアル利活用事業」ですが、内容的には、「こういう形で利活用します」というようなことはまだ決まっていません。ご意見のようにニーズ、仮に活用するとしてもどのように活用したらいいのか、といった部分を把握する必要があると考えています。ご意見のように駅西の広場や、その他の駅西の場所を含めて一体的に活用していくべきだということであれば、そういった利活用を考えていくべきだと思います。公園自体で、なにかこういうことをやってほしいというニーズがもしあれば、そういったものも考えます。 この事業は今年度からスタートします。例えば地域の方へのアンケートやワークショップ、またはサウンディング調査で事業者の方にご意見を聞いてみるといったところから始めようと思います。この公園だけの利活用・にぎわいというよりは、駅の西口のにぎわいに繋がるような形にしていきたいと考えています。今、ご意見いただきましたような駅西も含めた利活用ということも念頭に置きながら、進めていきたいと考えております。
	松井委員	事業名称を「三枚橋1号街区公園トライアル利活用事業」ではなく、「三枚橋1号街区公園・駅前広場トライアル利活用事業」としてはどうでしょうか。その方が利活用等について良い意見をもらえると思います。
	事務局	この事業はまだ仮称という形ですので、駅西口という事業名

次 第	発言者	発言概要
		に変更することも検討させていただきたいと思います。
	渡部会頭	次に、JA秋田ふるさと、佐藤委員よりお願いします。
	佐藤 誠一 委員	各委員のご指摘やご意見、内閣府の意見も反映されて素晴らしい案が出来ていると思います。 意見ですが、駅の東西連絡通路の利便性の強化についてです。費用対効果は大事だと思いますが、市民会館建設を想定すると、やはりその部分の強化については、市民の思いは強いと思います。お金がなければできない話ですが、効果の考え方を広げ、考えて頂ければと思います。
	事務局	ご意見のとおり、市民会館が整備された場合の東西の通行の利便性の向上については、ご意見を頂いており、重要な課題と考えています。改修等の大規模なハード整備ではなくても、ある程度ソフト的な部分、ちょっとした工夫で解消できる問題等もあるかと思います。そういったところも含めて検討したいと思います。
	渡部会頭	次に、秋田銀行、佐々木委員の代理でご出席いただいている伊藤様よりお願いします。
	伊藤委員	はじめて Ao-na に入ったときに、学生の多さにびっくりしました。にぎわいの創出という点で大成功していると思いました。 一方で、建物の中がにぎわっているため、外から見るとにぎわいが伝わりにくい部分があると感じました。市民の皆様、にぎわっていることが伝わるようにすれば良いと思いました。
	事務局	Ao-na は中高生がたくさん利用しており、利用者数は当初の目標を大きく上回っています。建物内はにぎわっているけれども、回遊性は少ないという部分があります。回遊性も向上できるように努めてまいりたいと思います。
	渡部会頭	次に、北都銀行、竹村委員よりお願いします。
	竹村委員	大町地区で商売をやっているものとすれば、中心市街地活性化の課題にある、歴史的・文化的な建造物を活かした具体的な施策に大いに期待しています、よろしく願いいたします。 また、先ほど市民会館の建設の話がありましたが、中心市街地活性化における核となる案件だと思いますので、様々な難要素があるかと思いますが早期実現に向けた取組をお願いしたいです。また並行して、周辺の開発・再開発の具体案の策定も必要ではないかと思います。
	事務局	今回、計画に書き加えたとおり、大町、四日町についての方針としては、歴史的・文化的な部分、空き地の利活用を含めて、に

次 第	発言者	発言概要
		ぎわいの創出や活性化について、具体化に向けて引き続き検討していきたいと思います。 市民会館については実現に向けて努力していきたいと思います。
	渡部会頭	次に、秋田大学 横手分校、佐々木委員よりお願いします。
	佐々木委員	既にたくさんの委員の皆様がおっしゃったように、これまでの協議会の内容を踏まえて、充実した基本計画にしてくださってありがたいことだと思います。この方向でまとめていただければと思います。 情報提供ですが、資料2の9頁の「②各種団体との連携」ということで、秋田大学や東北大学との関係について触れて頂きました。秋田大学では横手市と連携協定を結んでいます。 秋田大学は情報データ科学部を新設し大学の組織の変更がありました。今まで秋田大学横手分校を統括していたのは地方創生センターでしたが、今年度からは地域共創機構となりました。いろいろ事業を整理したり、効果的なものにしていこうという動きがあります。その中で分校を統括している部門長から、各自治体の皆様にお伝え願いたいという事でお話がありました。学部・学科の研究内容、教官の専門等の大学の資源をまちづくり等の事業に活かしていきたい、一緒に研究したいというご要望があればぜひお知らせいただきたいとのことです。すぐには難しいかもしれませんが、マッチングの問題もあり、そう簡単ではないとは思いますが、秋田大学の資源を使いたいということがあればぜひお知らせください。
	事務局	貴重な情報をいただきまして、たいへんありがとうございます。情報データ科学部が新設されたことは伺っておりました。中心市街地活性化の事業とは別の事業で、情報データ科学部の先生に委員会等でご協力をいただいております。先ほどの地域共創機構の部門長からの申し出について、たいへんありがたく思います。市として、中心市街地活性化はもちろんですが、それ以外の様々な事業で連携、マッチングをさせて頂いて、一緒に進めさせて頂ける部分があればぜひお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
	渡部会頭	次に、横手市商工観光部、佐藤委員よりお願いします。
	佐藤和志委員	基本計画案について、異論はありません。 先ほど商工業振興計画のリニューアルの話題がありましたが、策定委員会を今月予定しており、本格的に着手していく予

次 第	発言者	発言概要
		定です。こちらの中心市街地活性化計画とのリンクを意識し、矛盾しないよう計画を作っていきたいと思います。 基本計画案の「認定と連携した支援措置」の事業名一覧の中に雪まつりの記載があります。報道等で発表しているとおり、今冬からは雪まつりの日程を2月の第2金曜・土曜に変更します。これによってさらに人を呼び込みたいと考えています。昨年の冬もそうでしたが、旧片野家住宅にかまくらを設置する事で雪まつりの二日間だけではなく、滞在ができるようにするなど、横手に来てもらえるような取組をしています。そのような取組を積極的に行うという事で、微力ながら中心市街地活性化の一助としていきたいと思います。
	渡部会頭	次に、横手市建設部、山石委員よりお願いします。
	山石委員	13 頁の中心市街地の地図を見ると、私が市役所に入った30年ほど前のまちなみとくらべて、駅西地区・三枚橋の土地区画整理事業などの面的な整備、また街路事業等が大きな変化だと感じます。先ほどからの話題になっている東西自由通路については、都市計画課にいた時に、自由通路の設置場所、幅員、自転車の通行等について、検討したことを思い出します。インフラの方は整備されましたが、時代が進んで新たな課題が顕在化しているのは承知しております。現在、秋田県の事業で、横手病院から本町までの八幡根岸線を整備しており、年度内をめどに開通する見込みです。また、秋田県の事業で停車場線も進行しています。インフラの整備だけで終わるのではなく、ソフト事業等で補完しながら、中心市街地の活性化をしなければならないと思っています。 Ao-na に行き、皆、自分の居場所を求めているのかなと思いました。居場所があるのはいい事で、快適ならばそれに越したことはないです。先日 Ao-na で会議があり、大館市の都市計画課の職員が来られましたが、Ao-na はとても好評でした。他の市町村からそう思われる施設になってよかったと思いました。 インフラ整備をするものとしては、作りっぱなしではなくて維持管理も含めて、大切にしていきたいという思いです。 計画について異論はないです。
	渡部会頭	続きまして、オブザーバーとして出席していただいております、秋田県 平鹿地域振興局 地域企画課長の小坂様より、ご意見をお願いいたします。
	小坂 オブザ	前回も私の方から、大学、誘致企業、民間事業者を、計画の

次 第	発言者	発言概要
議案第 1 号	一バー	中に柔軟に取り込んでいく事が大事なのではないかと、というお話をさせていただきました。それを計画に盛り込んで頂きまして、ありがとうございました。 計画の一番の核である、中心市街地全体の活性化、東口と西口の融合性をさらに高めていくためには、皆さんがおっしゃったようにハードだけではなくソフト面での事業をからめていくことが重要になると思います。これからも期待して見守りたいと思います。
	渡部会頭	ありがとうございました。今まで出されたご意見に対しては、市の担当からお話を頂いていますが、最後になにかご質問があればお受けします。皆様よろしいでしょうか。
		～意見なし～
	渡部会頭	続きまして、「議案第1号 横手市中心市街地活性化基本計画(案)に関する意見書(案)について」、事務局より説明願います。
	事務局	～事務局より説明～ 【資料3】
	渡部会頭	議案第1号について、委員の皆様より、ご意見・ご質問があれば、お願いいたします。 特に無いようであれば、ご承認いただくという事でよろしいでしょうか。
		～一同、承認～
	渡部会頭	それでは、議案第1号について、ご承認いただいたものとします。 以上で報告・議案の審議を終わります。ご協力ありがとうございました。
4. 今後のスケジュール等について	事務局	～事務局より説明～ 【資料 4】

次 第	発言者	発言概要
5. その他	司会	今後のスケジュールに関して、ご質問等ございませんでしょうか。 続いて、次第の「5. その他」になります。 皆様のお手元に第2回協議会の議事要旨をお配りしております。 ご確認いただき、修正等ございましたら、10月10日(金)までに事務局へご連絡ください。 以上で、事務局からは特段案件はございません。 皆様より、何かご意見、ご質問等ございませんでしょうか。
6. 閉会	司会	それでは、これをもちまして、「令和7年度第3回横手市中心市街地活性化協議会」を閉会いたします。 本日は誠にありがとうございました。